

戊辰150年・長岡藩家老・河井継之助を偲ぶ 塩沢の医王寺で「河井継之助墓前祭」を営む

8月16日、塩沢観光協会と塩沢区が主催する「河井継之助墓前祭」が塩沢の医王寺で執り行われ、雨が降りしきる中、町内のほか新潟県長岡市などから約80名が出席しました。没後150年目の命日を偲んだ今年は、長岡藩主だった牧野家の17代当主・忠昌氏（76歳）も参列しました。

墓前祭では、田村勝男塩沢観光協会会長が「戊辰150年を迎えた今年、多くの方々に河井継之助総督の法要にお越しいただき感謝申し上げます」とあいさつされ、菅家町長が「終焉の地として総督の志を後世に伝え、越後と会津の絆を深めたい」と追悼の言葉を述べました。忠昌氏など多くの出席者が焼香し、長岡市の前田剣豪会が剣舞を奉納しました。



◀ 継之助の墓前で焼香する忠昌氏



▼ 剣舞を奉納する前田剣豪会の方々



▲ それぞれの想いを披露した語る会

ラストサムライ・河井継之助の想い語る 「河井継之助を語る会」開催

8月16日、河井継之助墓前祭の後、「河井継之助を語る会」が塩沢集会施設で開かれ、墓前祭に参列した町内や長岡市などの関係者約50名が参加しました。開催に先立ち、語る会の目黒良樹代表が「今でも河井継之助を誇りにしている只見町のことを新潟県の方々にも知っていただきたい」とあいさつしました。語る会に参加した長岡藩主・牧野家17代当主の忠昌氏は「歴史的にも只見町にはお世話になり感謝を申し上げます」と話され、只見町河井継之助記念館ボランティアガイドの五十嵐アツ子さんは「継之助は最後まで忠義を尽くしたまさに『ラストサムライ』だと思っています」と述べ、参加者それぞれが継之助への想いを語り合いました。



みいこ
山内 美以子さん
(二軒在家)



吉津 ひなたさん
(福井)



こあ
五十嵐 心愛さん
(熊倉)

虫歯の
ない子



(7月31日)
3歳児検診

町内各地区で盆踊り大会や盆フェスを開催 各地区で盆イベント賑わう！

8月14～15日、各地区で盆イベントが開催され、多くの帰省客とともに賑わいをみせました。

只見地区では盆踊りが2日間開催され、只見小学生「なんでもチャレンジ隊」によるおはやしや花火大会などが行われました。朝日地区では朝日「盆」フェスが開かれ、来場者は多彩なステージイベントと多く並んだ出店を楽しんでいました。明和地区大盆踊りでは、明和青年団のおはやしにあわせて仮装した来場者がやぐらの周りを踊り、最後にはお楽しみ抽選会が行われました。



▲只見地区の盆踊りでおはやしを披露した「なんでもチャレンジ隊」の皆さん



▲朝日盆フェスでアコースティックライブを披露した渡部美香さん、美依さん親子(中・右)と柏木真吾さん(左)



▲アメリカの大人気キャラクター「ミニオンズ」に仮装して明和地区大盆踊りに参加した子どもたち

只見町ブナセンター 自然観察会

浅草岳山麓「大久保沢のブナ林を観察しよう！」



▲田子倉眺めから山々を一望した参加者の皆さん

の音があがっていました。今回は、ブナ林をはじめとした只見町の象徴的な森林植生や自然景観について知ることのできた観察会となりました。

8月5日、浅草岳の田子倉方面を観察地にしたブナ林の自然観察会が開催され、町内外から約20名が参加しました。

今回の観察会は、浅草岳只見沢登山口から大久保沢の水場を経由し、田子倉眺めまでを歩くコースで行われ、観察ポイントではブナセンタースタッフが解説しました。登山口付近では、豪雪により形成された雪食地形と複雑な立地環境に多様な植物群落がパッチ状に分布するモザイク植生を観察し、只見沢沿いではトチノキ・サワグルミの山地溪畔林、大久保沢では発達したブナ天然林、尾根部では低木林を観察しました。終点の田子倉眺めでは田子倉湖や只見の山岳景観を一望し、参加者からは感嘆

第71回 県民スポーツ大会・南会津大会 只見町勢が優勝・準優勝を飾る!

8月26日、県民スポーツ大会・壮年ソフトボール競技南会津大会が南会津町びわのかげ総合運動公園で行われ、只見町予選で優勝した明和ソフトボールクラブと準優勝の朝日ソフトボールクラブが出場しました。

郡内の7チームで争われた大会は、明和と朝日の両チームが勝ち上がり、決勝で対戦しました。結果、8-7で見事明和が優勝、朝日が準優勝を飾り、只見町勢が活躍した大会となりました。



▲優勝を飾った明和ソフトボールチームの皆さんと大会の選手宣誓をした佐藤佑介選手(右下段2番目)

JR只見駅開業55周年を祝う 「駅前広場屋台村」を開催!

8月18日、JR只見駅の開業55周年を記念した「駅前広場屋台村」が只見駅前広場で開かれました。これは、地元有志の方々による「駅前広場屋台村実行委員会」が企画したもので、町内事業者4店舗が出店しました。

会場には只見駅へのメッセージボードが設置され、来場者は「100周年目指して頑張ってください」などと只見駅にお祝いの言葉を寄せ、来場者全員で只見駅開業55周年を祝いました。



▲55を意味するよう両手を広げて只見駅開業55周年を祝う来場者と実行委員会の皆さん

亀岡ビーチバレーコートで熱戦 「第1回 只見カップ」開催!

8月26日、県バレーボール協会と県ビーチバレーボール連盟が主催するビーチバレーボール大会「第1回只見カップ」が亀岡ビーチバレーコートで行われ、町内外から男子6チーム、女子9チームが出場しました。

2人ペアで行うこの競技は、部門ごとに優勝を目指し、リーグ戦とトーナメント戦で争われました。出場した選手の皆さんは、砂に足を取られながらも熱戦を繰り広げていました。



▲第1回只見カップに出場した選手の皆さん

施設入所者の方々と地域住民が交流を図る 第3回 福祉の里夏まつり

8月26日、福祉の里エリアの関係施設で実施する「第3回福祉の里夏まつり」があさひヶ丘の前庭広場で開催され、施設利用者の方々や地域住民などが来場しました。

会場では只見小学生「なんでもチャレンジ隊」などのお囃子に合わせ、来場者がやぐらを周りながら盆踊りを楽しみました。また、ボランティアなどによる出店が並んだほか、天領只見仙獄太鼓保存会の演奏が披露され、会場は賑わいを見せました。



▲盆踊りを楽しむ来場者の皆さん

猛暑の只見町で川遊びを楽しむ！ 「川遊び体験」を開催

8月1日、朝日地区地域づくり委員会が主催する「川遊び体験」が黒谷川あまぶち周辺で開かれ、町内3地区から8名の子どもたちが参加しました。

川遊び体験では、目黒俊行会長が「今日は水の日です。川遊びを楽しんでください」とあいさつし、子どもたちは箱眼鏡を使って川の中を観察したり泳いだりしていました。体験後は川辺でバーベキューが行われ、子どもたちは夏の川遊びを満喫していました。



▲川遊び体験に参加した親子と安全な川遊びを実施した委員会の皆さん

福島大学生が小・中学生に学習指導 町内で「サマースクール」開講！

8月20～23日までの4日間、小・中学生を対象にした学習塾「サマースクール」が各振興センターで開かれ、3地区の小・中学生31名が受講しました。福島大学で教師を目指す大学生9名が講師を務め、高校生4名も講師として参加しました。

指導を受けた受講生からは「分からない問題が理解できた」などの声が聞かれ、大学生も「最後は自分の力で解けるよう指導しています」と話していました。



▲熱心に指導する大学生と苦手な科目に挑戦した受講生の皆さん

古代の四獣鏡や火おこしなどを体験！ 会津只見考古館まつり開催

8月11日、会津只見考古館まつりが同館で開かれ、夏休みの子どもたちや地域住民などが来場しました。

会場では、新潟県三条市と魚沼市の火焰型土器や町で発見された神皇正統記(複製)などが展示され、三条市のミニ四獣鏡づくり体験や火おこし体験コーナーなどが設けられました。また、海外でも活躍される佐藤長次さんの迫力ある居合が披露され、来場者からは大きな歓声と拍手が贈られていました。



▲三条市のミニ四獣鏡づくりを体験する参加者の皆さん

大会で地域の交流を深める 朝日地区のグラウンドゴルフ大会開催

7月26日、第2回朝日地区地域づくり委員長杯グラウンドゴルフ大会が楡戸農村公園で開かれ、朝日地区から約40名が参加しました。

熱戦を繰り広げた大会は、男性の部で渡部稔さん(下福井)、女性の部で松橋保子さん(楡戸)が優勝を飾り、景品が贈られました。また、ホールインワン賞には5名の方が受賞し、それぞれに景品が贈られました。猛暑の中行われた大会は、大いに盛り上がりました。



▲大会に参加した朝日地区住民の皆さん